

## 2. 整備事業スケジュール想定案

前項までに整理した内容を踏まえ、今後の付加価値型「子育て支援住宅」整備へ向けてのスケジュールを以下のように想定する。

本スケジュールによると、計画が順調に進んだとしても第1期の入居開始までには5年程度の期間を要するものと考えられる。特に平成24年度においては、かなり重要な作業が想定されるため、事業の早期実現の視点も含め、庁内においても組織的対応を要することとなる。

【付加価値型「子育て支援住宅」整備事業スケジュール（想定）】

平成23年度 (基本計画)	①整備計画（基本計画）の策定、庁内の合意形成 ②県への報告
平成24年度 (実施計画)	①財源の確保（社会資本総合整備計画案の策定など） ②子育て支援住宅の建設及び維持管理の概算シミュレーション （20年間程度の収支計算による財政負担の把握） ③意向調査対象用地の地権者への意向調査 ④周辺地権者や地域住民への説明、意見交換 ⑤建設用地の確定 ⑥付加価値施設的具体計画策定 ⑦入居終了後の定住対策基本方針の策定 ⑧PR計画（子育て支援住宅に関する町外への情報発信計画）
平成25年度 (基本設計)	・測量調査 ・11号区域開発に関する県協議 ・造成設計（上下水道等のインフラ設計含む） ・建築基本設計（支援住宅及び付加価値施設） ・用地買収
平成26年度 (実施設計)	・建築実施設計（支援住宅及び付加価値施設）
平成27年度 (工事)	・造成工事 ・支援住宅第1期（15～16戸）建設 ・付加価値施設建設 ・施設管理運営体制構築（町） ・第1期入居者公募
平成28年度 (工事) (供用)	・第1期入居開始（管理開始） ・支援住宅第2期（14～15戸）建設 ・第2期入居者公募
平成29年度 (全供用)	・第2期入居開始

注) 工事については1期と2期に区分しているが、1期から3期に区分することも要検討。